

岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会
岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会(平成 27 年度)第2回議事録

日時：3月17日(木)13:30～16:00

場所：山陽女子中学校・高等学校図書館

参加：9名(加茂、岡本、小橋、久戸瀬、稲葉、
森、大村、近藤、田中)

司会：加茂(倉敷古城池) 書記：田中(山陽女子)

1 開会

2 協議

(1) で一れ一BOOKS 2016 について (田中)

・で一れ一BOOKS 2016 アンケート 実施について

⇒今週中に配布し、3月31日〆切りとする。

⇒アンケートの質問項目に「生徒の反応」を入れる。ただし、発表のあった2月以降は生徒が来ない時期なので、過去の回の反応も含めた質問にする。

・で一れ一BOOKS 貸し出し状況について

⇒先生の反応は良いが、生徒にはあまり借りられない印象。

⇒小説ほど動かないのは当然。貸し出しゼロのものが1になるのは大きい。

⇒読書感想文のシーズンに薦めると良い。

⇒アンケートの結果を見て、どの学校も貸し出しが少ないようなら、条件やコンセプトを考え直す必要がある。→当面は今の条件で実施し、周知・貸出増加を模索。

(2) 学校図書館間横断検索・相互貸借について (近藤)

・横断検索について

⇒4月に参加募集をかける。積極的に参加してほしい。

・学校セットについて

⇒新しいセットを追加した。10冊程度の少数パックも作っている。

⇒HPへのアップは新年度。

⇒請求記号順に並んでいると見やすい。

⇒セットの要望は随時受け付けている。

⇒で一れ一BOOKS セットを作してほしい。「で一れ一BOOKS2014」「一2015」「一2016」など年度ごとに組んでもらえた方が使いやすい。→来年度検討。

・高校間の相互貸借について

⇒実施数を調べるべき→「基本情報アンケート」に質問項目を追加。

- ・基本情報アンケートは縦向きに作ってほしい。

(3) 高等学校図書館間サポート事業について(小橋)

- ・平成 27 年度のサポート校アンケートをまとめた。
- ・(A) <サポートする学校>について
 - ⇒「何も相談されなかった場合、困っていないのか、困る必要が無いほど図書館があてにされていないのか、どちらなのか分からない」という意見に関しては、もっともだと思う。
 - ⇒「館内の閲覧のみの図書館」という意見に関しては、気になるが介入していいものか分からない。
- ・(B) <サポートを受ける学校>について
 - ⇒サポートは、勤務時間中に行なうようにしているが、「出張サポートを利用してみたかったが、言いづらかった」という意見が出ている。模索してもいいのでは。
 - ⇒現体制は、司書部会に参加している人にとっては、相手校の顔が分かっているから聞きやすい。一方、司書部会に来ていない人にとっては気を遣ってしまう。「サポートセンター」のような、個人じゃない方が聞きやすい。鳥取県のサポート体制がその一例。
 - ⇒(A)：サポートする学校の割り当ては、あくまで「問い合わせ窓口」。聞かれた側が分からない場合は、近隣の司書に尋ねれば良い。
- ・時期的な問題について
 - ⇒4月上旬が最もサポートを必要とする時期。しかし、新しい組み合わせは総会で承認されるので、時期的な問題あり。
 - 前任にしっかり引き継いでもらう。
 - 前年度の担当者が4月上旬に FAX するのも一案。
 - 決定事項：異動が分かった3月中にサポート担当者が「分からないことはここにお電話を！」と FAX をするための雛型を作成。各校の担当者が4月上旬にサポート校へ FAX する。
- ・サポート事業は概ね成果をあげているが、もう少し体制を整えたい。
 - ⇒来年度は、各回の司書部会で、サポート校で話をする時間を作れないか。
 - ⇒相手校同士も分かるので、グループで集まるのも一案。
 - 「ネット研からの要望」として各支部（庶務）に伝える。
- ・中途退職など年度途中でサポート組み合わせを変更してもいいか。
 - ⇒決裁時に「やむを得ない場合は年度途中で代わる」との一文を入れ、承認を得ておく。
- ・新しい組み合わせは今年度担当者(小橋)がつくる。

(4) 司書部会 HP について

- ・全体の容量の制限はあるのか。
 - ⇒不明。サーバーの管理を確認すれば残り容量が分かる。

- ・サーバーの支払い(¥24,926)について
⇒年度初めの時期に支払いを行う必要がある。
- ・HPの編集マニュアルをもう一度配布すべき。

(5)第一回合同司書部会について(久戸瀬)

- ・4月27日(水) 10時～16時 会場：岡山工業高校

- ・研修A／初任研

⇒講師は備中地区担当

- ・研修B／合同研修①

⇒「お悩み相談！リクエスト対応と選書」（100分／諸連絡含）

元少年A『絶歌』について、差別的表現、政治的な内容を含むもの、萌えイラストなど、学校図書館として悩ましい要素がある資料について意見交換をする。

⇒ネット研メンバーが各班の進行役となる。

- ・昼休み(70分)

⇒基本情報アンケートを支部ごとにまとめる。

- ・合同研修②

⇒「共有しよう！各支部 最近の研修ハイライト！」（70分／諸連絡含）

各支部の2年くらいの活動を各15分程度で発表してもらう。

⇒パワーポイント、紙資料など各支部に依頼。

⇒このあと各支部で集まり、研修企画をする流れが良い。

- ・研修に対する希望として、「資料研究」があがっていることについて

⇒県立図書館ではどのように資料研究をしているか聞きたい→すぐに必要なものについてはマニュアル化している。

⇒資料研究は選書につながる研修になるが、レファレンスツールを作るものは時間がかかるため、合同研修には不向き。

(6)その他

- ・ネット研は小橋さんから成本さんに交代予定。
- ・ティーンズコーナーについての検討会について
⇒7校参加希望。
⇒ネット研は通さずに希望校で行う。